



研修レポート!!

「周防路を訪ねて」

みのり学級 代表
大西 登美男

七月十五日八時二十分予定より早く改善センターを出発老友二十二名と共に防府路に向かう。緑滴る山峡をぬけ、山口市に入ると空も明るくなり浮きく、気分で牟礼の阿弥陀寺に到着する。名僧重源上人が、東大寺再建のため建立された由緒ある古寺です。

鎌倉時代作金剛力士像が仁王門に安置され、参道の左右には、盛りは過ぎたが、沢山のあじさいが植えられており「あじさい寺」の別名もあり本堂では、開山忌法要が行われていた。阿弥陀寺を後に、学問の神様とあがめられ菅原道真を祀った日本最古の天満宮へ参拝する。広大な境内には、梅林があり朱塗りの社殿がまぶしい位に輝いていた。節分の牛替神事や裸坊祭等思い浮かんで参りました。



記念写真に収まり次の目的地毛利邸へと向かい昼食となる。午後毛利邸及び博物館にて、学芸員の説明を聞く。総檜造りの建築と手入れの行届いた庭園は高い評価を受け平成八年国から名勝に指定されました。二時過ぎ毛利邸を出て、塩田公園に向かう。係員の分かり易い説明により防長三白政策と製塩法改良進歩の話をパネル図表で聞き、往時の苦勞と藩主の保護育成で日本有数の製塩地であり藩財政を大きく潤したものです。思えば防府に波静かな瀬戸内海の海陸要衝地として国府が置かれ周防の要地として栄え、日本民族多神教宗教として神社仏閣が護持継承され日本文

日置俳壇

〈兼題 秋灯〉

秋灯や山家に一人住む住居
石川 静子

秋の灯や母の位牌に話しかけ
大永 邦代

秋の灯や今も直らぬ文字の癖
柚花 岩門

秋燈や古りし家守る母の影
窪田 由来

山巖の秋灯はるか父祖の里
白石 敏江

工事場に秋の灯しるき闇の中
松岡ヨシ子

秋灯下越し方静かにふり返る
国司ハル子

どの窓も秋灯遅くまで点り
木村 一路

新涼や魚籠に小魚跳ねる音
松岡ヨシ子

髪洗う手ざわり薄きかな
白石 敏江

病む姑の夕餉にそえる秋の茄
窪田 由来

悲しみは波に流して秋出水
石川 静子

秋時の二葉が並ぶ雨上り
松岡ヨシ子

名月や父誘われて夜の街に
大永 邦代

水澄みて湖面に雲の湧きにけり
西村亥子代

山里に十戸余りの秋祭り
柚花 岩門

〈雑詠〉

化として残され、今こうして我々が身近かに鑑賞出来ることを喜び、ありがたく思うものであります。



地域安全と音楽のフェスティバル

～みんなで作ろう宍心の街～

とき 10月12日(木) 18:30～

ところ 仙崎漁協会館 3F大ホール

● 入場料は無料です ●

お誘い合わせておいてください!!